

福祉の輪 広げたい



社会福祉法人
緑友会

ホームページ

緑友会

検索



「工事中の新東名高速道路（歌川から大山方面を望む）」

平成 32 年度の全線開通に向け、平成 30 年度には厚木南 IC から伊勢原 JCT（仮称）間、平成 31 年度には伊勢原 JCT から伊勢原北 IC（仮称）間の開通が予定されています。（写真提供：中日本高速道路㈱）

第 30 号の内容

工事が進む新東名高速道路
..... 1

NEWS 1 ～ 12
..... 2・3

ピックアップ
..... 4 ～ 7

リレーコラム 私の気になる話題
..... 8



伊勢原ジャンクション（JCT）



高取山トンネル

（写真提供：伊勢原市広報戦略課）

NEWS 1 ハンドベル演奏！



本厚木ふたば保育園

法人幹部と各施設長、医療と調理の責任者が出席し毎月、法人代表者会議を開催しています。昨年12月の第165回会議は本厚木ふたば保育園を会場としましたが、年長さんがハンドベルを演奏してくれました。清らかな音色に感激でした！

NEWS 2 除雪機が活躍！



清川ホーム

6年前の大雪で大変な影響を受けましたので除雪機や四輪駆動車を導入、定期的に訓練や操作を実施し大雪に備えています。清川ホームでは今冬2度の大雪に見舞われましたが、施設前の村道や敷地内通路等の除雪は訓練通りに進み、影響は最小限でした。

NEWS 3 山口顧問と諸橋理事、ご逝去



山口久文顧問



諸星晃理事

元清川村郵便局長で長年、当法人の監事や顧問をお務めいただいた山口顧問と、広報誌の“もろさんが行く”でお馴染みの諸橋広報担当理事が年末年初に相次いでご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

NEWS 4 横浜銀行 No3 の施設見学！



みどり園

横浜銀行の前迫静美取締役常務執行役員と遠山久恵伊勢原支店長が障害者支援施設みどり園を視察して下さいました。同園は設立から資金融資でお世話になっており、丁重にお迎えさせていただきました。

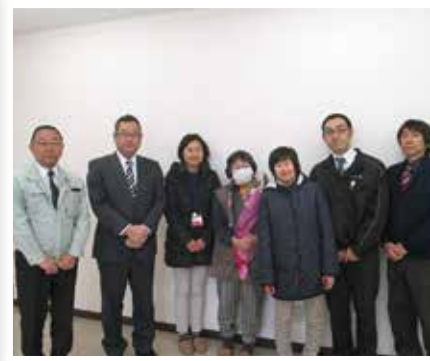
NEWS 5 レスパイト：お陰様で受託終了！



みどり園

養護学校等が長期休暇の時に障がい児を受け入れるレスパイトサービス事業を平成13年から受託してきましたが放課後児童デイ事業所が増えたので今後の受託を辞退しました。関係の皆様に感謝致します。

NEWS 6 長年お世話になりました！



アトリエ ヴェルデ

成瀬スタジオにアトリエ ヴェルデが移転しましたので長年お借りしていた部屋（貸主：布田様）を退去しました。利用者の代表者や施設職員と共にお礼の挨拶や花束贈呈を行いました。感謝です！

NEWS 7 はいチーズの導入！



本厚木ふたば保育園



伊勢原ふたば保育園

本厚木ふたば保育園は一昨年より、伊勢原ふたば保育園は昨年度よりイベント等の写真をプロに委託する有料写真提供を開始しています。撮影を委ねることで進行等に専念できる職員は勿論、瞬間をとらえた写真は、ご家族にも好評だそうです。

NEWS 8 出張健康診断の導入！



医療担当者会議

湘南厚木病院のご協力により利用者及び職員の健康診断をみどり園で実施していただくことになりました。効率の良さに加え、日常生活の場での検査のため精神的にも落ち着いているので正確な数値となり高い評価でした。関係の皆様には感謝致します。

NEWS 9 商店や会社等での採用を夢見て！



つくし



アトリエ ヴェルデ

就労継続支援事業所では障がい者が商店や会社で働けるように訓練等を行っています。訓練等での工賃は月額 12,000 円程度。会社等で働ければ月額 10 万円にも！ 雇用をお考えの方はご連絡を！

NEWS 10 保育士不足が深刻！



伊勢原ふたば保育園



本厚木ふたば保育園

保育士確保は関係者共通の悩みです。自治体や保育園の保育士獲得競争は熾烈ですが緑友会では良質な保育の継続と処遇改善こそが保育士確保の近道と考え、努力を更に積み重ねています。

NEWS 11 清川村の活性化を願って！



清川村にスーパー「クリエイト」が進出されました。活性化のために村や住民の皆様が努力された成果です。清川ホームでの物品購入や職員達も買い物などで応援を心掛けてまいります。

NEWS 12 7年間の施設整備、一旦終了！



みどり園

増築に続いて既存棟改修が終了しました。花壇農園や芝生広場、駐車場整備や拡張など7年間の施設整備は多くの皆様のご理解とご協力によるものです。心より感謝申し上げます！

ピックアップ 1

いせはら芸術花火大会鑑賞 IN みどり園



4月14日(土)に第7回いせはら芸術花火大会が伊勢原市総合運動公園で開催されました。みどり園では、利用者の皆さん・保護者の皆さん・職員一同で園内から鑑賞しました。利用者の皆さんは、毎年、みどり園の納涼祭のフィナーレを飾っている花火を鑑賞しているため、花火には興味津々でした。事前打ち合わせでは芝生農園から芸術花火を堪能する予定でしたが、若干の小雨となったため、園内からの花火鑑賞となりました。参加された皆様からは「きれいだね」「迫力がある」「皆で鑑賞できてよかった」等々の声が聞か

れ、笑顔が絶えないイベントとなりました。

当日は、花火大会の雰囲気も味わっていただきたと考え、夕食には夜台風のメニューを取り入れたり、芸術花火鑑賞中に綿菓子を食べていただいたりしました。皆さんからは、「是非、来年もみどり園で芸術花火を見たい」との声が多く聞かれましたので、来年こそは皆で晴天の下、芝生農園内で花火の音も堪能しながら迫力ある芸術花火を鑑賞したいと思います。(みどり園 施設長 平田 栄孝)



ピックアップ 2

新施設で気持ちも新たに(アトリエ ヴェルデ)



4月の人事異動で、「つくし」から「アトリエ ヴェルデ」の指導員として働いています。アトリエ ヴェルデは、昨年12月に成瀬スタジオに移転しました。作業棟は、窓も大きくて風通しも良く、事務・食堂棟を繋ぐウッドデッキはとても開放的です。駐車場も広いので車両の出し入れもしやすく、利用者さんの送迎や納品、受注のため毎日運転する私たちにはとてもありがたいです。つくしで3年間、指導員として勤務してきましたが、利用者さんの主たる障がい種別が異なるため、利用者さんとの関わり方、支援の仕方がつくしと同じ、という訳にはいかず、最初は戸惑いしかありませんでした

が、利用者さんがすぐに打ち解けてくれたり、先輩職員が一から丁寧に指導してくれたことによって、今では少しずつ周りを見ながら仕事ができるようになったと自分では感じています。

養護学校等を卒業後にヴェルデを利用される方が多く、若い利用者さんが大半を占めているため、保護者様との関わりも大きくなってきます。利用者さんはもちろん、保護者様からも信頼を得られるような支援を心がけていきたいです。これからは、ヴェルデの利用者さんと共に成長し、一緒に有意義な時間を過ごしていきたいと思っています。(アトリエ ヴェルデ 支援員 古屋 美沙子)



平成12年に緑友会に調理員として働き始め、4月の人事異動で調理員から心新たに支援員としてアトリエ ヴェルデで働く事になりました。これまでは入所されている利用者の皆さんと食事の配膳をしながら関わってきましたが、今は、毎日通って来られる利用者さんと個々に接する事に迷いや戸惑いを感じながらも楽しく仕事に取り組んでいます。

クリーニングの折りたたみ、ボールペンの組立、電子部品加工、商品の封入といった作業、協力企業さんとの関わりといった事など覚える事が多く、気持ち的には大変な毎日を過ごしています。4月

からヴェルデの利用者さんも増え、それに合わせた作業量の確保、作業スキルに合わせた作業配置を考え、作業力アップを図り就労意欲を高めることを目標に支援していきたいと思っています。

(アトリエ ヴェルデ 支援員 畠山 英幸)

ピックアップ 3

0歳児からの取組み～非対称から正中線をとらえる～（本厚木ふたば保育園）



昨年度から午前と午後に 15 分間のマッサージとマット運動を行っています。今年度は、マッサージ、マット運動にリズムを加えて取り組んでいます。特にマッサージは、非対称の乳児の体に正中線をとらえる体作りとして行っています。

正中線とは、体を正面から見た時、その中心である眉間～股間までを結ぶ一本の線のことで、体感を鍛え、体を柔軟にすることによって正中線を作る事ができるそうです。正中線をつくるマッサージをすることで、全身を使った遊びをしたり、足をあげて転ばずによく歩くようになったりと体の変化をみてとれます。

0歳児からたくさん肌に触れることは重要であり、肌に触れることによって子どもとの信頼関係が生まれます。マッサージの時間は、保育士と子どもが一对で関われる時間であり、子どもたちも自ら手を出してやりたがるなどスキンシップを楽しめるひとときです。

顔のマッサージをして筋力をつけたり、肩をほぐしてあげることによって両手を体の真ん中に合わせられるようになったりと、手をかければかけるほど子ども達の日々の体の発達・変化を見ることができます。体のつくりは子どもによって様々であることから、向き癖やそりの強さなどを把握して一人ひとりにあったマッサージを心がけています。

（本厚木ふたば保育園 リーダー保育士 小林 静佳）



ピックアップ 4

栄養ある食事の提供（つくし）

「つくし」では平成 25 年 4 月から給食の提供を始めました。それ以前の利用者のみなさんの昼食は、自宅から弁当を持ってくる方が数名いらっしゃいましたが、殆どがコンビニや弁当屋のおにぎりや揚げ物主体の茶色の食材が目立つお弁当を買ってくる方々で、さらに一人暮らしの方も多いことから、「つくし」で栄養のある食事を一日一食だけでも食べて欲しいという願いから給食を開始しました。

利用者の皆さんの要望をできる限り取り入れて、栄養バランスの良い、満足していただける給食の提供をめざしていますが、この両立がとても難しく、調理スタッフはいつもメニュー作りに頭を悩ませています。5 年を経過し現在では、給食開始当初に比べてメニューのレパートリーも格段に増えました。できるだけ野菜を多く取り入れることを意識するなどして、

栄養バランスも良くなり、つくしの給食は右肩上がり日々進化しています！！そして、何より作り手の私たちが嬉しいのが利用者のみなさんの笑顔が増えた事です。『いつもおいしい給食をありがとう！』『このメニューの作り方を教えてください。』などと声をかけてくれたり、うれしそうに空のお皿を見せてくれたりする方もいます。

今後も、安心・安全で利用者の皆さんの心と体のケアができるような給食を提供できる様に調理スタッフ一同力を合わせて頑張っていきますので、よろしくお願いします。

（文責：調理主任 土屋 力重）



ピックアップ5

☐ 相談支援専門員のつなぐ役割（つくし相談室）☐

つくし相談室では、障がいのある方またはその周りの方で、何か困っていること、不安に思っていることや希望などを聴かせていただき、福祉サービスを絡めながら課題を解決したりニーズに応えたりしています。

相談利用者のAさんは、将来の目標があるものの、イメージと現実がかみ合わずに生活を続けていました。日々の生活の中で唯一のストレス発散法は、お金を使うことでした。しかし、使えるお金にも限度があり、問題を起こしてしまいました。当時は自分も相談支援専門員としての経験が浅く、驚きと同時に悔しい思いになりました。

問題を起こしたことで、初めてAさんの心情を聴き、真の意味で向き合う時間を持つことができました。「話をして声が聞けたことで安心できた。」とAさんがこぼした一言で、今まで見えていなかった一面や違った視点が持てるようになり、Aさんの本当の苦しさや寂しさを理解できていなかったことに気づきました。



その後、Aさんは地域との連携から通所事業所につながり、出会いや話せる環境を広げることで、ストレスを抱え込まずに笑顔で自分の気持ちを話せるようになりました。今では、一般就労に向けて実習を行うまでにステップアップすることができました。

Aさんとの関わりを通して、自分も一人で抱え込まずに周囲へつなぐ大切さと、関わる人を広げることを学びました。これからも人と人との出会いを積み重ねながら関係性を深め、利用者が自信を持って安心した生活が送れるよう、一緒に歩んでいきたいと思います。

（つくし相談室 主査 杉崎 秋仁）

ピックアップ6

☐ 時には立ち止まることも必要（総務）☐

日々のストレスや運動不足を解消し、心と体の健康づくりにと弘法山へのハイキングをしていましたが、その後、より多くの自然や運動量を求めて初心者ではありますが身近な大山へのハイキングも始めました。山頂へのルートも、ケーブルカーを使い下社から山頂へ登る表参道ルートが一般的ですが、そのほか頂上を中心として東西南北にある尾根から登るルートがあります。シーズン中の休日ともなれば表参道は多くの登山客で賑わいますが、その他のルートはシーズン中でも表参道ほど多くなく、静かな山歩きを楽しむには絶好のルートとなっています。ただし、中には道標がないルートや、数少ないルートもあり、そのようなルートを歩くときは、十分に下調べをするほか、地図、コンパスを持参するなど万全の準備をしてから望みますが、時として尾根の分岐などでどちらの方向に進むか悩むことがあります。思い込みで進むと道に迷い、最悪の場合は遭難にもつながりかねません。「道に迷ったらはっきりしている場所まで戻れ」が登山の鉄則のひとつですが、私は悩んだ時点で一旦立ち止まり、現在の位置を確認し、地図でどちらの方向に進むか再確認をしてから歩みを進めることとしています。



これは山を歩くときの私の信条としていますが、日々の業務にもつながると思います。業務が自分の思いどおりに執行できるときもあれば、何か支障が出るときもあります。支障もなくスムーズに運ばば問題はありませんが、支障が出たときや出そうなときの対応如何によっ

て、結果が大きく違ってきてしまうことがあります。過去の経験が生きることもあれば、逆にそれが仇となり良くない結果となってしまうこともあるでしょう。過去に同じようなことがあったからと言って、今回も同じ対応で良いとは限りません。業務を迅速に処理することは大事ですが、考えもなしに今までと同じ対応をするのではなく、改めて考えることで新たな対応策がみえてくることもあります。時には一旦立ち止まってみることも必要ではないでしょうか。

（総務局長 矢作 政行）

利用者さんの高齢化を受け、医療担当者が様々な協議を行っています。高齢化により体力面での低下、車いすを利用する方が増加し、受診の困難さが出てきていました。そのため、現在の利用者さんへの医療の質を落とさず、さらには向上を視野にいれながら、利用者さん、職員にとって最良の方法の検討を重ねてきた結果、医師のご協力を頂きながら、5年前より徐々に施設内での診察を導入していくことができました。現在、みどり園では、内科、精神科、歯科の診察、清川ホームでは、歯科の診察を施設内で行っています。利用者さんにとっては、いつも生活している場所での診察のため、ゆっくり落ち着いて診察を受けることができます。



～清川ホーム たんぽぽ歯科診察の様子～



～みどり園 丹沢病院精神科診察の様子～

また、利用者さんの健康診断も年2回行いますが、健診がある月はグループに分かれて毎週のように病院に通っていました。健康診断も同様に施設内で実施できないか検討した結果、昨年度より湘南厚木病院様のご協力のもと、みどり園内にて半日で実施できました。診察同様、利用者さんは落ち着いてスムーズに健康診断を受けられました。今年度からは、みどり園の利用者さんのほか、みどり園職員、就労継続支援B型事業所のつくしやアトリエヴェルデの利用者さんも加わり、1日かけてスムーズに実施ができました。



～湘南厚木病院様による健康診断の様子～

最近、「未病」という言葉も耳にすることが多くなりました。「未病とは、人の健康状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に区別できるわけではなく、健康と病気の間で連続的に変化しており、その状態を言います。：神奈川県ホームページより」

診察や健康診断結果から、病気に移行しないよう、食事や運動などの生活習慣に気をつけ、できる方は自分で心や身体の状態を知り、病気を防げるようお手伝いができると思います。

嘱託医、協力医をはじめ様々な関係機関のご理解、ご協力に感謝し、今後も利用者さんの医療の質のさらなる向上にむけて医療担当者が協議していきたいと思います。

（主任看護師 藤木 佐恵子）

チャレンジデー

チャレンジデーとは、右欄の通り国際的なイベントですが、取り組んでいる自治体はそれほど多くありません。法人本部と6事業所のある伊勢原市では、チャレンジデー強化月間を設けチラシも作成するなど大々的に取り組んでいます。本厚木ふたば保育園のある厚木市や清川ホームのある清川村では取り組んでいません。自治体毎に地域に合った個性のある事業が多いので私は個性的で楽しい事業を見つけるのが好きです。『ミュージックフェスティバル 新人シンガー発掘オーディション(厚木)』にも関心がありますし『移住促進事業(清川)』も今後の展開が楽しみです。

今回取り上げた伊勢原のチャレンジデーは昨年初勝利をあげ今年は更に盛り上がったので話題として取り上げました。

当欄の担当者は、毎回変わっていく予定ですので取り上げる話題が何になるかは担当者次第です。楽しみにして下さい！

チャレンジデーとは

日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくり、地域活性化を目的とした住民参加型イベントで、毎年5月の最終水曜日に世界中で実行されているそうです。

人口規模がほぼ同じ自治体間で午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数（参加率％）を競います。敗れた場合は対戦相手の自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚し、相手自治体の健闘をたたえます。

今回は、みどり園の中堅男性職員が担当します。



みどり園：サッカーなど



伊勢原ふたば保育園：体操など



アトリエ ヴェルデ：ラジオ体操

編集後記

本誌は今回で第30号となります。創刊号は平成14年で当時の故岩崎祐二理事長が法人内外に情報発信するため開始しました。早いもので15年余が経過しました。

今回の表紙は新東名高速で2年後の全線開通後は日本の発展に大きく寄与することと思います。そして、万が一、大地震で東名高速道路が被災した場合、新東名と東名が補完することで国内の流通を支える役割を果たす見込みです。緑友会もずっと後々まで園児や利用者さん達のために頑張ってまいります。

「福祉の輪を広げたい」第30号

発行：2018年7月

発行責任者：岩崎尊之（理事長）

編集責任者：矢作政行（総務局長）

事務局：社会福祉法人緑友会 総務部
伊勢原市伊勢原 3-6-7

Tel 0463-73-7221

印刷：カサハラ印刷株式会社

伊勢原市白根 475-1

社会福祉法人緑友会 各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部・総務部

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 みどり園

伊勢原市栗窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 清川ホーム

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 伊勢原ふたば保育園

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認可保育所 本厚木ふたば保育園

厚木市田村町7-3-2F Tel: 046-295-2525

知的障害者グループホーム げんき家

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援B型事業所 つくし

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 つくし相談室

伊勢原市伊勢原3-5-7 Tel: 0463-73-6027

就労継続支援B型事業所 アトリエ ヴェルデ

伊勢原市高森1422-7 Tel: 0463-79-8181